

# 循環型農業を目指し、汚泥発酵肥料でえだまめ栽培を

令和5年度作成  
(試験実施：令和5年度)

## 農場の概要

地域：三郷市花和田地区

対象作物：えだまめ（品種：サヤムスメ）

## 導入した資材等

粉末状「還元くんetc.」 3.3-5.2-0.3 （株式会社ピラミッド）

## 導入の目的・ねらい

有機質資材を新たに導入し、化学肥料を低減することで持続可能な農業の実現を目指す。

## 試験概要

■面積 各区 0.5a

■施肥量 表1. 施用した資材について

		資材名	施用量(kg/10a)	N成分(kg/10a)
実証区	基肥	還元くんetc.	100	3.3
		硫酸カリウム	40	0
		骨粉ペレット	40	1.2
		アヅミン	40	0
	追肥	還元くんetc.	50	1.65
		硫酸カリウム	20	0
	合計		290	6.15*
慣行区	基肥	日の本化成3号	30	2.4
		骨粉ペレット	40	1.2
		アヅミン	40	0
	追肥	日の本化成3号	15	1.2
	合計		125	4.8

\* 肥効率80%として増肥

- 主な管理作業：は種 7月8日 収穫 9月21日  
(基肥施用 7月3日 追肥施用 7月19日)
- 栽植密度：条間45cm 株間18cm
- 調査方法：生育調査(地上高)、収穫調査(着莢数、収量)  
各区連続した6株×2か所調査



図1. 基肥散布の様子

## 結果概要

### 【生育調査】

- ・生育期間中の地上高は、両区間とも差はほとんどなかった（図2）。

### 【収穫調査】

- ・収穫物の草姿に差はほとんど見られなかった（図3）。
- ・着莢数、収量ともに差がほとんどなかった（表2）。

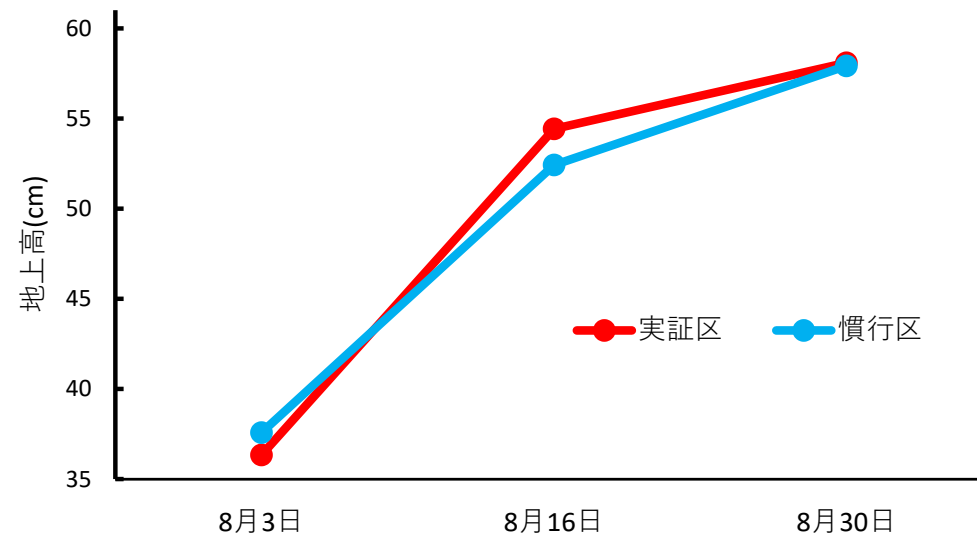


図2. 地上高の推移

## 生産者コメント

汚泥発酵肥料の使用にあたって臭いを一番心配したが、使用した肥料は臭わず、また粉末状でも作業性が良いと感じた。えだまめの食味は、慣行区よりも実証区の方がやや旨味があるように感じた。

莢数や収量、品質も変わらないようなので、今後も使用したいと考えている。



図3. 草姿

表2. 収穫調査結果

	着莢数(個/株)	収量(g/株)
実証区	59.1	123.3
慣行区	58.5	122.6

問合せ先  
春日部農林振興センター

電話 048-737-6311